

# あさひかわ新聞

発行所 北のまち新聞社 TEL27-1577 FAX27-1617

〒070-0038 旭川市8条通6丁目2480-1

## 8月1日開幕、インターハイ

### バスケットボール旭藤女子 悲願の全国切符

全道高校バスケットボール大会(六月二十二日・北見)で、旭藤女子が悲願のインターハイ出場を決めた。高体連に加盟して三千年目、初の全国出場だ。女子の旭川勢がインターハイに出場するのは、三十二年前の旭商以来。市内バスケットボール界からも祝福の声が上がっている。



初の全国出場を決めて喜ぶ旭藤女子のメンバー

全道大会では予選トナメント二回戦から登場し、札幌北斗に第三ピリオドまでリードを許しながら第四ピリオドで逆転。61-49で下してチームは勢いに乗った。三回戦は海星学院(室蘭)を

イ出場を決めた。高体連に加盟して三千年目、初の全国出場だ。女子の旭川勢がインターハイに出場するのは、三十二年前の旭商以来。市内バスケットボール界からも祝福の声が上がっている。

79-55で圧倒して四強入り。決勝リーグは初戦で函館中部を71-61、二戦目は札幌東商を73-52で退けた。最終戦では札幌山の手に48-104で敗れたものの、堂々の準優勝で初の全国出場を決めた。

チームは一九七八年(昭和五十三年)、現監督の伊藤淳子教諭が赴任して本格的なスタートを切った。当初は同好会高体連に未加盟というこ

とで大会出場が制限された。五年後の八三年(昭和五十八年)、ようやく高体連に加盟。しかし、部員が集まらず、大会に出場

しても早々と姿を消す苦しい時代を過ごした。八九年(平成元年)、地区大会で初のベスト4入り。翌年には、二月の全道高校新人大会、夏の全道高校大会に初出場。この頃から全道大会を意識した戦いが始まった。学校側の理解もあり、旭川地区では四強の常連になったが全道の壁は厚かった。

二〇〇八年(平成二十年)に初めて全道大会でベスト4入り。しかし、ケガ人が出て全国には届かなかった。昨年の全道大会は好選手を揃え、四強入りを果たしたが決勝リーグ三連敗で四位に終わった。

伊藤監督がチームを指導し始めた翌年に入部したのが、玉田主将の母親の直子さん。まだ高体連に未加盟の草創期だった。親子二代にわたる夢を叶えた全国出場だ。

玉田主将は「三年間の練習の成果を出せたいと思います。まだ実感が湧かないんですが、角地副主将は「相手に思い通りにプレーさせなかったのが勝因。嬉しいです」とともに笑顔だ。そして「先生をインターハイに連れていくことが出来て嬉し

- 【旭藤女子】  
監督 チヤヤ手  
コーチ ココネシ HAMA選
- 藤川 梨香 ③  
伊前 裕太 ③  
嶋田 奈美 ③  
木地 夏美 ③  
近角 朱美 ③  
近角 朱美 ②  
河野 花乃 ②  
福嶋 菜乃 ①  
伊坂 南花 ①  
三浦 衣奈 ①  
中下 優伶 ①  
木村 和奈 ①  
石竹 奈和 ①  
畑中 学
- (◎印は主将、○内は学年)

今年のチームは「キャプテンの玉田を中心に三年生がまとまり、人の和ができていた」と伊藤監督。チームワークが抜群で、失点が少ない安定感のあるチームに仕上がっている、確かな手応えをつかんでいる。